

会 議 録

会議の名称	平成19年度 第8回環境審議会
開催日時	平成19年12月21日(金曜日) 14時00分から16時00分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎 市議会棟4階 第3委員会室
出席者	【委員】池田委員、今井委員、櫻井委員、渡邊委員、太田委員、忠地委員、矢内委員 【事務局】斉藤生活環境部長、福島環境保全課長、大和田環境保全課長補佐、三城環境計画係主任、佐藤環境計画係主事
議 題	1 環境基本計画見直し市民アンケートについて 2 その他
会議資料の名称	【当日資料】 資料No.1 西東京市環境基本計画策定に係る環境アンケート 一般市民アンケート調査結果 脱温暖化2050研究成果 2050日本低炭素社会シナリオ：温室効果ガス70%削減可能性検討（「2050日本低炭素社会」シナリオチーム） 【事前配布資料】 特別参考資料「脱温暖化2050プロジェクト」成果発表（櫻井会長編集・提供）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(14時00分 開会)</p> <p>録音機故障のため、今回は会議メモを参考に要点記録とさせていただきます。</p> <p>議題1．環境基本計画見直し市民アンケートについて</p> <p>(1) 課題となる環境問題(問1)について</p> <p>アンケートで上位にくる項目は、メディアの影響が大きいのではないかと。 居住地域によって課題となる環境問題に変化がみられるか。</p> <p>(2) 西東京市の環境の満足度(問2)について</p> <p>居住年数と環境の満足度に相関があるか。 他市・区からの転入者は西東京市の環境をどのようにとらえる傾向があるか。</p>	

(3) 日常の行動について(問4) 廃棄物・リサイクルについて

(公民館開催のイベントでは)ごみの分別ルールを理解度は若い人のほうが高い。高齢者は意欲があるが、ルールを理解するより体で覚える傾向がある。分別の促進には、正しい分別方法の普及が必要ではないか。

(4) 交通手段及び地域の交通体系のあり方について(問8、9、10)

コミュニティバス(はなバス)は、公共交通空白地域を中心に運行する公共交通機関の一部であるので、はなバスの利用状況(「週に1回以上利用する」と「月に1回以上利用する」の合計21%)は環境意識行動と直接結びつくものではない。

(5) 石神井川との関わりについて(問17)

「興味がない」という意見が多い(24.6%)のは、石神井川自体を「川」として認識していないことによるのではないか。

「水辺環境が悪い」という意見(24.9%)は、生来の住民と他市・区からの転入者で差があるか。

日経新聞によれば、都の政策で川再生に取り組む方向にあるようなのでそれに期待したい。

(6) 全体を通して

市の情報提供のあり方が問題である。

市民アンケート結果と前回までの審議で議論してきた意見との間に乖離はみられない。

見直しの方向性は概ねこれまでの審議に沿ったものとする。

議題2. その他(特別参考資料(櫻井会長提出)および脱温暖化2050研究成果について)

(1) CO2削減目標 世界各国と日本について

日本のCO2削減ポテンシャルの検討必要性

日本のCO270%削減は可能

(2) CO270%削減にむけての具体的な取組みについて

市町村レベル・個人レベルで2050年シナリオA・Bどちらよりのライフスタイルを選択するか考えるための参考材料

(16時00分閉会)

以上